

ふるさとを愛し，夢を育み，子どもが主役の楽しい学校の創造



# 大正っ子

帯広市立大正小学校  
Obihiro Taisyou

Elementary School

令和7年2月28日

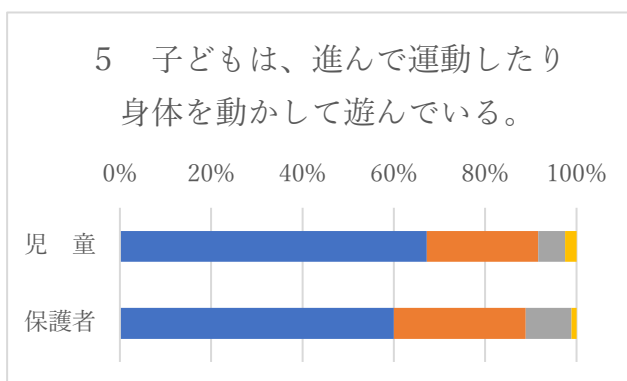
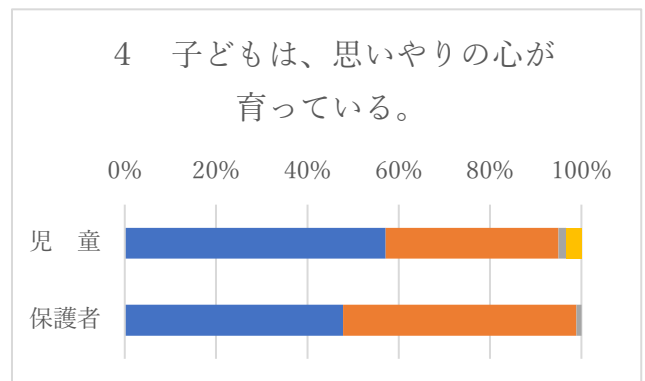
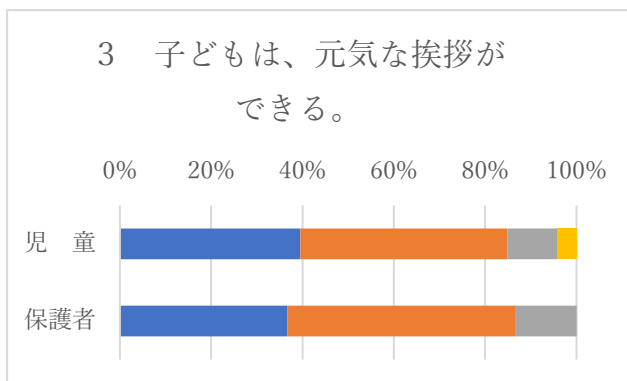
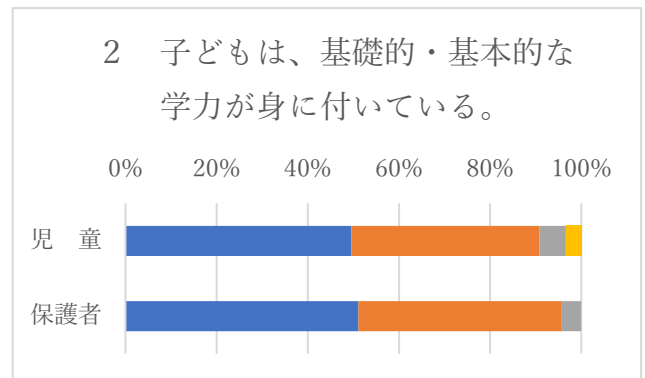
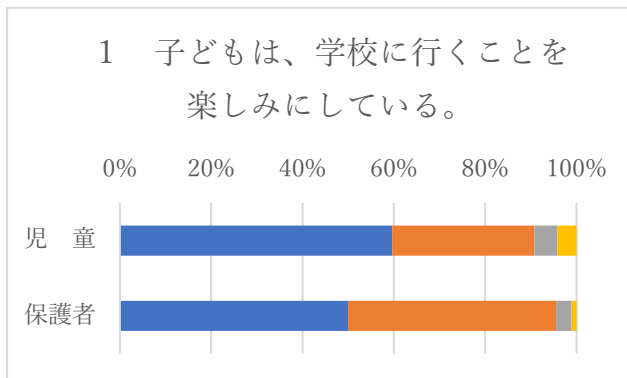


文責：田中善久

## 令和6年度第2回学校評価 アンケートまとめ

令和6年度2回目に実施した学校評価アンケートに90名の保護者の方からご回答をいただきました。1回目と比べて1.8倍近い皆様にご協力いただき、ありがとうございます。児童のアンケート結果と合わせてお知らせいたします。このアンケート結果は、今後の学校づくりに生かしてまいります。

回答数 児童：119件 保護者：90件

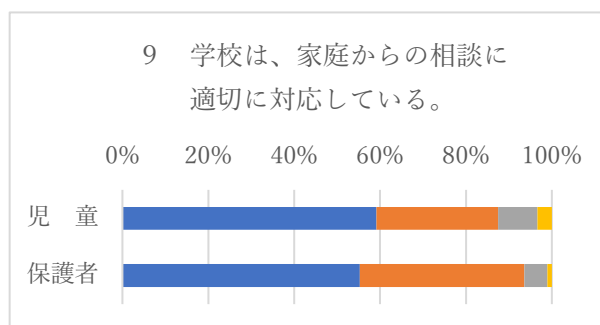
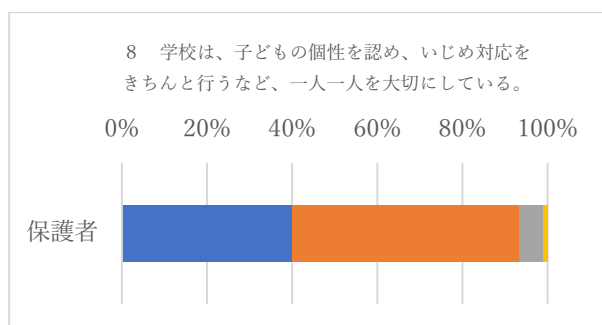
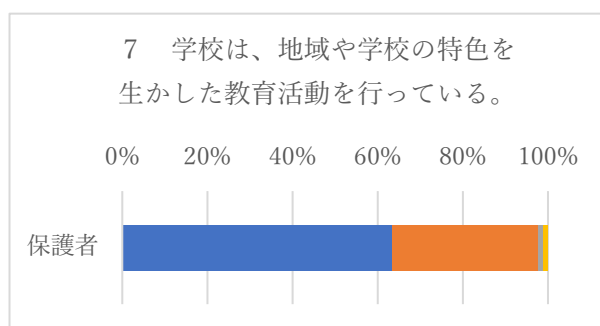
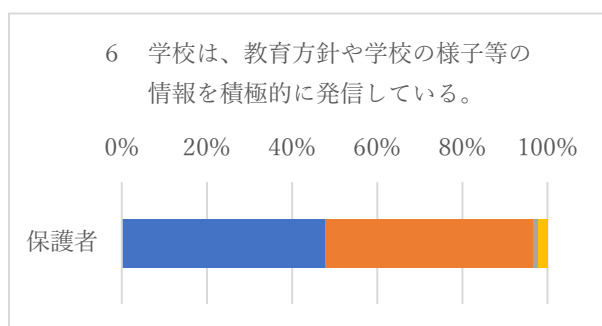


- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない



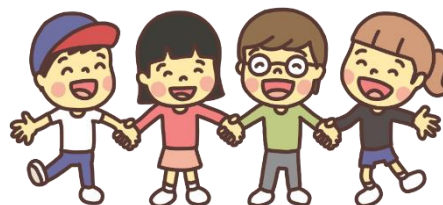
アンケート項目の1から5までは、児童は自分のことを、保護者の皆様はご自分のお子さんのことを振り返ってお答え頂いていると思いますが、ほぼ全ての項目で肯定的評価が90%を超えています。

項目6から9は、本校の学校教育目標・令和6年度の学校経営方針の重点に関わる項目です。今年度の学校全体としての教育活動がどの位子どもたちの成長につながっているのかを振り返っています。こちらの項目でも、ほぼ全ての項目で肯定的評価を90%以上いただきました。特に、「学校は、地域や学校の特色を生かした教育活動を行っている」「学校は、子どもの個性を認め、いじめ対応をきちんと行うなど、一人一人を大切にしている」「学校は、家庭からの相談に適切に対応している」の3項目は、前回と比較して「そう思う」の割合が高くなりました。



本校が目指す「地域や学校の特色を生かした教育活動」には、保護者・地域の皆様のご協力が不可欠であり、これまで多大なるご協力をいただいておりますことに、心より感謝いたします。今後も学校を多くの皆様を開き、家庭・地域と共にある大正小学校を目指し、学校が安心して通学させられる場となるように、保護者・地域の皆様と協働できる学校でありたいと考えています。

各評価項目において「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」との回答がありました結果を真摯に受け止め、改善に努めてまいります。



## 【ご意見等】

- いつもありがとうございます。毎日楽しく通ってくれているので感謝しています。
- いつも、親身に相談に乗ってくださったり、優しく子供を見守ってくださって、感謝しております。今後ともよろしくお願い致します。
- いつも子供たちを見守っていただきありがとうございます。
- いつも楽しそうに学校通っています。ありがとうございます。
- 子供が苦手としているところなどしっかり把握し、家庭とも連携していただけているのでありがたいと思う。褒めるところ、厳しく指導するところ、区別がきちんとされていて子供のためにもなっています。何か不安なことなどがあれば対応がとても早いので助かっています。いつもありがとうございます。

※学校と保護者が子どもたちの現状を把握し、子どもたちにとってよりよい教育ができるよう一緒に考え、進んでいきたいと考えています。励ましの言葉、大変うれしく思います。

▼活動では無いかもしれませんが校舎裏の駐車場や入り口などが雨が降ったり春先の雪解け時期にグチャグチャになるのでアスファルト舗装にして頂きたいです。

※学校としてもアスファルト舗装を行いたいと考え、予算付けをお願いしているところですが、なかなか難しいというのが現状です。帯広市教育委員会が、他校より砂利を多く配分してくれたり、PTA 役員の皆様が、砂利を敷き詰めてくださったりするなど、少しでも負担を減らすようにご協力くださっていることに感謝しております。

▼車での送り迎えの時に、ロータリーに車を停めて待っていたり、ルールを守れていない方を見かけます。特に祖父母世代だと思います。バスの時間帯や徒歩でも帰る子供達がいる中でルールをまもるのは当然で特別扱いは必要無いと思います。事故が起きてからでは遅いので今一度周知と声かけ等でルールを守ることを促して下さい。

※子どもたちの安全を守ることを何よりも優先していかなければなりません。皆様にご協力いただけるよう今後も周知していきます。

▼市の方針などもあり大変かと思いますが、メイクインまつりへの参加復活(せめて農作物販売だけでも)を期待しています。

▼1週間でいいので夏休みを短くして冬休みを長くしてほしいです。

▼地域を活かした活動をしているのであれば、地域の環境に合わせた休み期間にしていただきたいです。冬休みの方が家族の時間を取ることができる家庭が多いと思

ます。

※帯広市に 39 校の小中学校があり、各学校で状況に様々な違いがあります。帯広市全体として統一して実施していることと各学校独自に決定し実施しているところがあります。保護者の皆様のご意見を伺いながら、本校としての要望を上げていきたいと考えております。

▼先日教育委員会からタブレット端末の故障費用の負担について連絡が来ましたが、使ってる限り故障、破損は付き物だと思います。急に高額な請求をされても困るので、保険加入や画面保護フィルム、保護ケース等の対応はないのでしょうか。

▼配布されているタブレットの使い方に関して、制限が多すぎるように感じています。もちろん、ゲームや Youtube、SNS の問題点やリスクについて教育することは重要だと思います。しかし、ゲームや Youtube、SNS など以外の制限を緩めて、調べ物やプログラミング、創作活動など児童の自律的な活用を促すようにできれば、次世代のデジタルを活用できる人材の育成につながると考えています。先生方の指導は大変になるかもしれませんが、ご一考いただければ幸いです。

※現在、タブレット端末の破損予防に対応する予算措置がないため、事前対応が難しい状況です。今後、学校としてできる対応策がないか検討をしていきます。また、タブレット端末のより有効な利活用に向けて、使用方法や制限内容等につきまして検討を進めていきます。さらに、SNS やネットの安全な使用、情報リテラシーなどを学ぶ活動を今後も取り入れていきます。

▼個々や集団の問題などでたとき必要なときは懇談会などのときにも題材としてあげてほしいです。クラスで話し合いがされたとしても親まで伝わらないことが多いので。

※保護者の皆様に、学校での児童や学級様子、学校の取組等がしっかりと伝わるよう適切な情報発信に努めていきます。

▼学校で生徒に会った時、以前は挨拶をしてくれる子が多かったのですが今はとても減っているような気がします。こちらから挨拶をしても目が合っているのに返答がない子もいます。初めて合う大人に挨拶するのは恥ずかしいかもしれませんが、学校内では元気に挨拶できたらお互いに気持ち良いのではと思います。

※「いつでも、誰にでも」挨拶できる児童を育成するため、様々な場面での指導を継続していきます。

今後も、保護者の皆様と学校が協力して教育活動を進めていきたいと考えております。ご心配なこと等、気になることがございましたら、いつでも学校へご連絡いただければと思います。